

地方行政サービス改革の取組状況等(令和3年4月1日現在)

自治体コード	都道府県名	市区町村名	類似団体区分
462187	鹿児島県	霧島市	都市 III-3

(1)民間委託

	直営(※)	今後の対応方針【直営(※)を選択した団体のみ回答】	【参考】	
			類似団体委託率	全国(市区町村分)委託率
本庁舎の清掃			100.0%	99.6%
本庁舎の夜間警備			97.9%	98.5%
案内・受付			95.0%	89.9%
電話交換			100.0%	92.8%
公用車運転			87.5%	88.6%
し尿収集			93.5%	98.2%
一般ごみ収集			98.0%	97.5%
学校給食(調理)			88.0%	72.5%
学校給食(運搬)			97.7%	91.2%
学校用務員事務	○	退職不補充、会計年度任用職員で対応。	41.5%	38.0%
水道メーター検針			100.0%	99.0%
道路維持補修・清掃等			100.0%	97.1%
ホームヘルパー派遣			100.0%	99.1%
在宅配食サービス			100.0%	99.9%
情報処理・庁内情報システム維持			100.0%	99.7%
ホームページ作成・運営			100.0%	97.8%
調査・集計			91.1%	96.3%

※令和3年4月1日現在において、直営で専任職員を置いている団体

(3)窓口業務

総合窓口の設置				窓口業務の民間委託	
設置状況	設置予定	予定時期	検討中	委託状況	委託予定無し
BPRの手法を用いた業務分析				【参考】	
取組状況		業務改革効果		類似団体	全国(市区町村分)
				総合窓口設置率	委託率
				20.0%	64.0%
				総合窓口設置率	委託率
				14.2%	27.4%

(4)庶務業務の集約化

実施状況	委託状況	対象部局				対象業務				【参考】			
		首長部局	企業局	教育委員会	その他	給与	旅費	福利厚生	財務会計	類似団体	実施率	委託率	
実施済	委託予定無し	○				○		○		72.0%	8.0%		
「実施予定無し」及び「首長部局未設置団体」は「未実施の理由」を、「実施予定あり」の団体は「実施予定時期」を記述してください。 【人口が5万人未満の団体は回答不要】											全国(市区町村分)	実施率	委託率
											33.5%	3.3%	
BPRの手法を用いた業務分析											【参考】		
取組状況		業務改革効果											

(2)指定管理者制度等の導入

	公の施設数	制度導入施設数	導入率	前年度以降、導入が進んでいない理由	自治体職員常駐施設数	自治体職員を常駐して置ける事に対する考え方	【参考】	
							類似団体導入率	全国(市区町村分)導入率
体育館	14	9	64.3%	指定管理料が少額になるため応募が見込めない。	0		69.4%	40.1%
競技場(野球場、テニスコート等)	22	16	72.7%	指定管理料が少額になるため応募が見込めない。	0		65.8%	48.4%
プール	5	5	100.0%		0		73.4%	52.0%
海水浴場	2	2	100.0%		0		60.0%	13.7%
宿泊施設(ホテル、国民宿舎等)	2	2	100.0%		0		93.3%	85.0%
休養施設(公共浴場、海・山の家等)	5	5	100.0%		0		85.4%	75.6%
キャンプ場等	3	2	66.7%	指定管理料が少額になるため応募が見込めない。	0		65.8%	59.2%
産業情報提供施設	0	0			0		86.4%	75.0%
展示場施設、見本市施設	0	0			0		63.6%	65.8%
開放型研究施設等	0	0			0		0.0%	40.2%
大規模公園	4	4	100.0%		0		63.3%	44.2%
公営住宅	118	118	100.0%		0		47.7%	16.2%
駐車場	6	0	0.0%	駐車場については、身体障がい者の雇用確保の観点等から未導入としている。	2	使用料の徴収や事故等防止のため、施設の管理を行う必要があるため。	46.0%	37.1%
大規模公園、斎場等	1	1	100.0%		0		27.8%	22.8%
図書館	2	0	0.0%	質の高い図書館サービスを提供するためには、専門職を含む自治体職員の常駐が必要と判断している。	2	質の高い図書館サービスを提供するためには、専門職を含む自治体職員の常駐が必要と判断している。	32.9%	20.2%
博物館(博物館、歴史館、動物園等)	0	0			0		28.4%	28.1%
公民館、市民会館	35	3	8.6%	導入について、検討中であるため。	15	市民へ施設開放しているため。	26.5%	22.8%
文化会館	0	0			0		83.3%	51.5%
会館、研修所等(県庁舎を除く)	15	4	26.7%	指定管理料が少額になるため応募が見込めない。	8	利用者からの施設の利用状況の問合せや予約の受付・利用時の使用料の支払い等、利用者の利便性や使用時の事故等防止のため、施設内の器具等の管理を行う必要があるため。	38.2%	50.1%
特別養護老人ホーム	0	0			0		100.0%	74.7%
介護支援センター	0	0			0		46.7%	49.0%
福祉・保健センター	7	3	42.9%	利用者からの施設の利用状況の問合せや予約の受付・利用時の使用料の支払い等、利用者の利便性や使用時の事故等防止のため、施設内の器具等の管理を行う必要があるため。	1	地域保健サービスとしての相談業務や各種健(検)診などの保健事業を効率的に質の高いサービスを提供するため、専門職の自治体職員を常駐で配置する必要があるため。	57.1%	53.0%
児童クラブ、学童館等	1	0	0.0%	指定管理料が少額になるため応募が見込めない。	1	子ども・子育て支援新制度における地域子育て支援拠点事業の中核となる施設であるため。	22.9%	24.5%

(5)自治体情報システムのクラウド化

実施済	○	【参考】	
		実施率(類似団体)	実施率(類似団体)
		自治体クラウド	単独クラウド
		62.0%	16.0%
全国			
		自治体クラウド	単独クラウド
		41.4%	58.6%

(6)公共施設等総合管理計画

策定済	○	策定予定	策定予定時期
【参考】			
類似団体	策定割合	全国(市区町村分)	策定割合
100.0%		99.9%	

(7)地方公会計の整備

統一した基準による財務書類の作成状況(一般会計等財務書類)			
作成済	○	作成予定	作成完了予定年度
【参考】			
類似団体	作成割合	全国(市区町村分)	作成割合
88.0%		85.8%	
(注1)統一した基準による地方公会計については、原則として平成27年度から平成29年度までの3年間で整備するように要請されているが、当該調査の基準日はその初年度の開始時点である。			
(注2)「作成済」の※印は、平成30年度決算から取引の都度、伝票単位ごとに仕訳を行う方法(日々仕訳)により令和元年度中に財務書類の作成を行う団体			